

環境研究総合推進費 令和7年度事後評価個票

研究課題番号	3RF-2204
研究課題名	サービス志向型サーキュラーエコノミービジネスの環境負荷削減ポテンシャル評価に関する研究
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	東京大学
研究代表者名	木下裕介

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、サービス志向型サーキュラーエコノミー（SoCE）ビジネスの環境負荷削減ポテンシャルを評価する手法の開発を目的とした。バイクシェアリング、衣服レンタル、家電サブスクリプションの3事例を通じて、ビジネスシナリオ作成と消費者行動・環境影響評価モデルを構築し、統合的な分析を行った。これにより、SoCEビジネスの展開が環境負荷低減に寄与する可能性を定量的に示すことが可能となった。研究成果を多数の論文として公表した他、ガイドブックや社会人向け講座として公開し社会的意義も高い。一方、事例間の連携やモデルの汎用性にはさらに検討が必要であり、政策提言には課題が残った。消費者行動の地域性や状況依存性、モデルの不確実性などについても考慮すべき点が指摘された。今後は、データの多様性拡大や不確実性評価の導入を通じて、より実効性のある政策支援ツールの開発が期待される。